

園の理念 子どもの健やかな育ちを保護者や地域と共に支える

教育保育目標 子どもの健全な心身の発達をはかりつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培うため家庭や地域での生活を含め生活全体が豊かなものになるようにする。そのために園では、家庭との連携を図りながら園における生活を通して、生きる力の基礎を育成する。

本年度の具体的な目標と評価

目標	評価
子ども主体の保育の提供	友達や職員に思っていることを伝える機会が、集会等で準備されている。本年は、子供の意見をまず受け止めそれについて議論する形を大切にすることを心掛けた。(思いを実現するための対話)
保育環境の配慮	こども主体の保育ができるように、場面に応じた環境設定を行うようになっていく。
職員の資質向上	外部研修は殆どが中止になったが、園内研修を立案し計画が立てられ時間外に勉強会という形で行われていた。
地域における子育て支援の実践と情報提供	東郷地域の区長会に公民館等に置いてもらえるように毎月園だよりを配布している。同時に地域の学校にも配布して情報の共有を図っている。
小学校との連携強化	東郷学園を中心に意見交換や設定保育ではない公開保育の様子を見る機会を設定しその振り返り迄できた。今年は、コロナ禍で様々な機会が奪われたが入学後の子供の様子を5月に参観することができた。

【評価の内容】

1 できていない 2 まあまあ出来ている 3 出来ている 4 良く出来ている 5 とても出来ている

評価項目	評価	改善策
1.教育・保育の計画 ・園の基本理念・基本方針・目標を職員が理解している ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している ・乳幼児の発達や実態に即したねらいや内容を設定し、3歳未満児は個別の計画を作成している	4 5 5	年間・月刊・週の計画によって保育が行われている。
2.保育内容 ・子どもに分かりやすい温かな言葉遣いで、穏やかに話すよう心掛けている ・子どもの名前は、呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいる ・「はやく」「ダメ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている ・子どもの目線に立ち、気持ちやおもいを大切にしながら対応している ・1人ひとりの発達の連続性や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しをもった教育保育に努めようとしている ・身近な自然や地域社会と関われるような取り組みをしている ・子どもが意欲的に取り組める環境を用意し言葉をかけている ・遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している (例・社会的ルール・遊びのルール・当番活動・異年齢の交流など)	4 5 4 4 3 3 4 5	コロナ禍により、三密回避優先で、様々な行事を縮小し、保護者参観目的の行事などを取りやめる中、子供主体の行事を行うことができた。今後コロナが収束に向かう中で、子供主体の行事を保護者にどのように理解してもらい参画してもらうかが課題になる。
3.保健管理 ・登園時や日常の健康観察、身体測定、健康診断を実施している ・「健康・安全や発達の確保」を図るための学校保健計画(学校保健計画・学校安全計画)を策定し、計画に基づいて生活安全指導・避難訓練・交通安全指導を実施している	5 5	疾病予防等の情報の発信を掲示板やメールで行っているが、実際当事者になった時に長期間の欠席を拒むケース

<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の病気やケガ・疾病予防等の情報提供を行っている 	5	<p>もあるので、学校保健法を基に取り扱いを明確化した方が良い。</p>
<p>4.安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故予防・感染症予防・避難訓練・自然災害等に対応出来る危機管理マニュアルがあり、訓練や園内研修の中で活用している ・安全点検（園内・保育室・遊具・ヒヤリハット）を実施し、会議を通して結果や改善点を職員が共有している ・緊急連絡カードの作成・一斉配信メールの登録・関係機関との連携体制を表示にするなど 緊急事態発生時への取り組みを行っている 	<p>3</p> <p>2</p> <p>4</p>	<p>ヒヤリハットを数年ぶりに復活させようと思っていたができていない。4月からは、フォーマットを整え行いたい。</p>

令和3年1月27日～2月10日に実施したアンケートの集計です。記述されていましたがご意見も原文のまま載せています。

認定こども園やまげほいくえん

施設評価アンケート

このアンケートは、子ども達の過ごす環境をより良くするために行うものです。下記の項目について、次の選択枠の中から思う欄に○を
A:あてはまる B:どちらかといえばあてはまる C:どちらかといえばあてはまらない D:あてはまらない

(Ⅰ)家庭での子どもの様子について

評価項目

- 1 園がすきである。
- 2 外遊びが好きである。
- 3 絵本やお話を聞いたり、見たりすることが好きである。
- 4 友達と一緒に遊ぶ機会がある。
- 5 早寝早起きをしている。
- 6 朝ごはんを必ず食べる。
- 7 物を大切に使う事が出来る。
- 8 自分から進んで「あいさつ」ができる。

計

A	B	C	D	合計
47	14	2	0	63
57	6	0	0	63
51	10	2	0	63
22	19	16	6	63
36	13	13	1	63
55	5	3	0	63
17	26	19	1	63
20	25	14	3	62

(Ⅱ)保護者自身のことについて

評価項目

- 1 園での話をじっくり聞く時間を大切にしている。
- 2 子どもに絵本の読み聞かせをしている。
- 3 家族であいさつを交わしている。
- 4 子どもと一緒に朝ごはんを食べている。
- 5 子どもの健康(手洗い・うがい・栄養)に気を付ける。
- 6 子どもと一緒に戸外で遊ぶことがある。
- 7 地域や社会でのマナー(場面に応じた立ち振る舞い)が大切だと思う。
- 8 物を大切にしている姿を見せている。
- 9 仕事が休みの時には、子どもと過ごすことを大切にしている。

計

A	B	C	D	合計
28	32	0	1	61
10	21	29	3	63
54	6	3	0	63
29	13	15	4	61
42	21	0	0	63
38	18	7	0	63
54	9	0	0	63
33	25	1	0	59
52	9	2	0	63

(Ⅲ)園のことについて

評価項目

- 1 子ども一人一人に応じた指導をしている。
- 2 運動や遊びの楽しさを教えている。
- 3 園では家庭や地域との連携を大切に教育保育活動を進めている。
- 4 園では家庭教育学級等を通して保護者の養育力の向上に協力している。
- 5 子どものことで、先生に気軽に相談ができる。
- 6 園だよりや掲示板(連絡帳)を通して園での一日の様子を伝えている。
- 7 挨拶、身辺整理、食事などの基本的な生活習慣が定着できるように指導している。
- 8 活動や行事等で保護者が積極的に参画する機会が準備されている。
- 9 玩具や絵本、知育玩具、子どもの年齢に合わせたモノが準備されている。
- 10 園庭の遊びの環境が安全に配慮され整備されている。
- 11 子どもが落ち着いたりくつろげる場所が用意されている。
- 12 生活するうえでの掃除が行き届き衛生的に保たれている。

計

A	B	C	D	合計
49	12	2	0	63
59	4	0	0	63
53	8	1	0	62
47	12	4	0	63
48	11	4	0	63
54	9	0	0	63
56	7	0	0	63
55	7	1	0	63
58	5	0	0	63
57	5	0	1	63
59	4	0	0	63
60	3	0	0	63

(Ⅳ)それぞれの評価で特にD評価についてなぜそう思ったのかをお聞かせください。
その他、気付いたことがありましたら記入してください。

※提出期限は2月10日としましたので、ご協力ください。

※回収しましたアンケートは後日集計して3月の園だよりでお知らせします。

(Ⅰ)4について

- ・県外から来ているので、近所に一緒に遊ぶ機会がない。
- ・近くに年の近い子どもがいないので、お友達と遊ぶ機会がない。休日に公園に連れて行ったりするとお友達も来ていたりして遊ぶ事がたまにあります。
- ・近所に子育て世代がいない。妹の子どもが同居しているので兄弟のように遊んでいる。

(Ⅰ)5について

- ・起きるのは一定の時間に自然に起きているが寝つきが安定していない。

(Ⅰ)6について

- ・朝は時間のゆとりがない。

(Ⅲ)1について

- ・集団である為、一人一人とまではいかないと思います。先生方が悪いという意味ではありませんので・・・

(Ⅲ)10について

- ・妹の子どもが高い所から頭から転落して怪我をした経緯があるので信用していない。

(その他、気づいた事)

- ・「ほいくえんで教えてもらったよ」といろいろ話してくれます。ちょうちょ結び、最近ではみんながお昼寝をしている時に勉強している様子。日々の生活におわれ、なかなか教えることが出来ない自分が後ろめたく感じる反面、とても園での生活に感謝しています。残り少ない園での生活を楽しんでみたいです。
- ・先生のアドバイスのおかげで子ども共に私も母として成長させて頂いております。ありがとうございます。
- ・コロナで大変な中、いろいろと考えて下さりありがとうございます。本当に感謝です。あと1年と少しですが今後もよろしく願います。